



こんなときだからこそ出来ることを

校長 猪瀬 政幸

残念ながら休校期間が再度延長になってしまいました。今も世界中の人々が厳しくてつらい日々を送っています。しかし、「コロナのせいで…〇〇なってしまった」とか「コロナさえなければ…□□だったのに」とネガティブな感情ばかり抱いては、ますます不幸な気持ちになっていきます。ここはあえて「コロナのおかげで…〇〇できた」と少しでも前向きになるようなことに挑戦してみてもどうでしょうか？

休校期間前は、決められた時間に学校に行き、チャイムが鳴ったら椅子に50分間座って先生が指示したことに黙々と取り組む。何となく、毎日そう過ごしていれば良かったかもしれません。ところが今は、起きる時間も何を勉強するかも自分で決めなければならない。「ラッキー、自分でやりたいことが勉強できるぞ！」という人よりも、「何をやったらいいかわからない、どうしよう」と悩んでしまう人の方が多いのではないのでしょうか。

かつての日本経済では、指示されたことを効率よく正確にこなす人材が多く必要とされていた時代もありました。しかし、そういう人は、誰かが指示してくれないと自分から何も出来なくなる傾向があります。

「科学の急速な発展にともない、近い将来、今ある多くの仕事を人工知能（AI）がとって代わる。」そう言われるようになってから何年たったでしょう。まだまだ先の事だと思っていた未来をコロナウィルスが何年も前倒しにしてしまったような気がしています。

これからの時代を生き抜くためには、劇的な変化に対応する力、様々な価値観（考え）をもった他人と協働して新しいものを作り出す力（創造性）などが必要とされています。そのような力を身につけるために「主体的・対話的で深い学び」があります。

「主体的・対話的で深い学び」を実現する学習形態の一つにグループ学習があり、小学校でも中学校でも何度も繰り返してやってきました。

そのような学習は学校にいないとできないことでしょうか？

「対話的な学び」で大切なことは何だと思えますか？ 自分の意見を主張することですか？

テレビの討論番組で、他の誰かが話しているのをさえぎって、自分の主張だけを押し通すような場面を見ることがあります。はたしてそれは「対話的」でしょうか？ それで何か新しいもの（価値観）を生み出していますか？

「対話的な学び」で大切なのは、まずは相手の話をよく聞いて、相手の考えを理解することです。もし言っていることがわからなかったら聞き直すこと。別の人に聞いてみても良いです。

では、そのような学びを家で行うにはどうしたらよいのでしょうか？ それは …… 本を読むことです。

本を読むことで、最新の情報や、様々な時代を生きた先人の知恵を聞くことができます。

そして、聞いた（読んだ）話に自分の考えを重ねて、誰かに伝える事です。もちろん家族に話してもかまいません。人に話すことで、次々と新しい知識や技能が定着していきます。そして、もっと詳しく知りたくなったら、別な方法で学ぼうとしていきます。その繰り返しが「主体的・対話的」であり「深い学び」になっていくのです。

本ではなくインターネットを活用しても、多くの学びはあります。ただ、一つ注意しなければならないことは、テレビやインターネットから一方的に送られてくる情報は、作成的で偏ったものも多いということです。

大事なのは、自分が知りたいこと、学びたいことを自ら選択していくこと。新しい疑問や発見があれば、違う角度からさらに調べ、深く探求することです。

「学び」とは、「気づき（＝知らなかったことを知る）」や「できなかったことができるようになる」ということだと考えます。そしてどんな「学び」であっても「生きる力」となります。

もちろん国語や数学でも学びはたくさんありますが、家での時間をもてあましているのであれば、今一番知りたいこと、興味があることについて学んでみてはどうでしょうか？

例えば、「ウィルスに負けない体の作り方」でもいいし、「家族を喜ばせるためのおいしい料理」なんかでもかまいません。「コロナで自粛していたおかげで〇〇が出来たようになった」と言えるようになると良いですね。

始業式 ～校庭で始業式～

4月6日(月)に始業式を行いました。通常は体育館で行いますが、密閉を避けるため校庭での始業式としました。また、密接・密集にならないため校庭に1.5m四方のマスを作り、各生徒はそのマスの中央に整列して間隔をとりました。正門から入った生徒は、マスクの着用確認と手指の消毒をして学級発表のプリントをもらい、そのまま校庭に整列して始業式を開式しました。式全体も短時間で粛々と行いました。

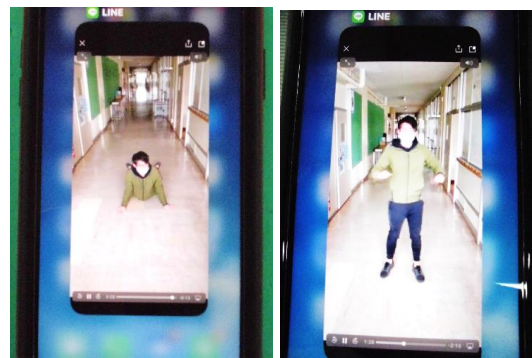
入学式 ～校庭で入学式～

4月7日(火)に入学式を行いました。当初は体育館で行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止の観点から校庭での実施となりました。例年は上級生が1年生のために心を込めて式の準備をしていましたが、今年は在校生は関われないため、教職員よって校庭にラインを引いたり、演台やパイプ椅子、国旗・市旗等を校庭に出して準備をしました。当日、参列者にマスクの着用や手指の消毒をお願いし、体温と健康状況を健康カードに書いていただき受付後、校庭に案内しました。混乱もなく、緊張感の中にも温かみのある入学式になりました。儀式を校庭で行うのは教職員も初めての経験でしたし、新入生や保護者は直前での会場変更でびっくりされたことと思いますが、厳かな入学式が執り行われました。



体育科よりYouTubeを配信 ～四中体操を覚えよう～

四中では年度当初、新1年生に「四中体操」を教えています。しかし、今年度は新入生も4月7日の入学式に参列しただけで、中学校での学習が始められていません。体育等の準備体操でラジオ体操を行っている学校もありますが、四中では「四中体操」という独自の準備体操を行っています。本校体育科では自宅での時間を利用して「四中体操」を覚えてもらうためにYouTubeを利用してネット配信しました。1年生は何回も練習して登校する時には覚えてきてほしいと思っています。外で運動することが出来ない現状ですので、ストレス解消や運動不足解消にも役立つので頑張りましょう。また、他の教科においても順次動画が配信されていきますので学習の参考にしてください。



【6月以降の行事について】

6月以降の教育活動については、教育委員会と協議し、検討をしているところです。方向性が決まりましたら、順次お知らせしていきます。現状では体育祭を例年同様の形式で今年度中に実施することは困難になりました。2学期以降にどのようにしていくか、2学期の行事内容等も鑑み検討していきます。また、3年修学旅行に関しては、現時点で実施の可否も含めて、9月に延期する形で日程調整中です。6月1日～学校を再開できるように準備を進めているところではありますが、学校独自で判断できるものではなく、苦慮しているところです。

生徒・保護者の皆様には、ご心配やご負担をおかけいたしますが、引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。